

誰もが持っている人間の権利である「安心」「自信」「自由」に3つの権利について考えました。

学校生活や日常生活において自分の権利を守るためには、どうしたらよいのか、CAPくれよんの方と勉強しました。

1日目



「安心な時はどんな時」「自信がもてる時はどんな時」「自由な時はどんな時」の質問に生徒は、家族と一緒にいられるときに安心! 音楽を聴いているときに安心! 苦手な勉強ができた時が自信! たくさん走れた時が自信! 自分のやりたいことができた時が自由! 日曜日が自由! と、生活の中から真剣に考える生徒の姿が見られました。

そして嫌なことをされてその権利が取られそうになった時「いや! 」と手をかざして拒否するジェスチャーを知りました。さらに、信頼できる大人に話すことが大事ということも教えていただきました。CAPくれよんの方たちとの寸劇の中で「いや! 」と言って、だんだん大きな声と動作で伝えられ、生徒の「自信」を持った表情が印象的でした。

2日目



前日の「安心」「自信」「自由」が定着していた事には、CAPの方たちも驚いていました。

2日目は、悪い知らない人が嘘をついて、だまそうとするかも -安心・自信・自由の権利を取ろうとする という設定の中、自分たちができる行動は何? を学習しました。そういうときに前日学習した「いや! 」という事を分かっているCAPの方も感心していました。さらに特別な叫び声! 「おー! 」という声を出すことを教えていただき、前日の学習に続いて寸劇の中で実践しました。2日目なので、生徒も自信を持ってCAPの方々と取り組んでいました。さらに大事なことは、その知らない人の特徴(服装の色や装飾品)を覚えるということも知りました。とっさにはなかなか記憶に留められないものですが、そういうことが大事だということが分かり、実践できたことは貴重な体験だったと思います。

3日目



3日目になると「誰もが持っている権利は?」「安心・自信・自由」と即答できるくらい3つの権利については定着しました。そして最終日は、自分の身体の安心・自信・自由についての学習でした。社会を目の前にして、今後起こりうることについて深く学びました。寸劇は、嫌なさわり方についてでした。「突き飛ばされる」、「つねられる」、しつこい「こちょこちょ」は、「いや! 」のジェスチャーをするという事をよく理解していました。さらに突っ込んで、身体に触ろうとしたら-これももちろん「いや! 」です。でも-それは怖い体験で「いや! 」というだけで

は解決できないことかもしれません。そんなときは、大人に話すことが大事だということをし
っかり教えていただきました。CAPの方からは、『触られるのが嫌だな～と思ったら「い
や!」って言うといいんだよ。やられた人が悪いんじゃないよ!』と教えていただきうなづい
ている生徒もいました。そして最後に「自分の身体は、自分のもの」という事を学びました。
今、私たちが社会に向かって旅立とうとしている生徒に伝えていかなければならないこと
がたくさんあります。

社会は楽しい事ばかりではないこと、つらいことや苦しいこと、怖いこともあるということ
です。そんな時、自分で自分の身を守ることが大事、そしてそれを相談できる人がいることが
「安心」につながります。生徒が「自信」をもって仕事に取り組み、「自由」を楽しめる時間
がもてるように見守っていけるとよいと思います。そして「自分の身体は自分のもの」自分
を大切にしながら成長して行ってほしいと思います。CAPの方とは、3日間毎日反省会を
持ちました。生徒の反応をととてもよく観察しておられ、次の日のプログラムの微調整を
されていました。3日間を終え、その反省の中で、自閉傾向の方のプログラムの展開が今後の
課題であるということが、双方で確認されました。有意義な3日間でした。

.....